

平成26年3月28日

岡山県知事 伊原木 隆太 様

後楽園魅力向上委員会

会長 黒瀬 仁志

岡山後楽園の課題解決に向けた方策について（最終提言）

後楽園魅力向上委員会では、後楽園の一層の活性化を目指し、まず、現在の後楽園にどのような課題があるのかを議論し、「岡山後楽園の課題について」として平成24年5月31日に知事に報告しました。そして、短期的に取り組むべき施策について「中間提言」を取りまとめ、同年12月28日に知事に提言しました。

県においては、「中間提言」を受け、岡山後楽園と岡山城共通のポスター及びリーフレットの作成、後楽園の夜間独占使用を活用した誘客対策、大学等が年会費を負担することにより学生証の提示で入園できる「岡山後楽園キャンパスメンバーズ制度」の創設、小学生向けリーフレットの作成配布、さらには、岡山後楽園・岡山城等連携推進協議会（以下「連携推進協議会」という。）の設立などを実施されたところです。

このたび、本年4月からスタートする「晴れの国おかやま生き生きプラン」の取組に当たり、岡山後楽園の課題解決に向けた施策を反映していただきたく「最終提言」を取りまとめたので、知事に提言させていただきます。

記

1 危機意識をもって戦略的に観光施策に取り組む点については、次の案を提言する。

- ① 限られた財源の中で効果的な観光振興をしようとするれば、選択と集中が必要であるが、後樂園はミシュラン・グリーンガイドで唯一県内で三つ星であり、選択され財源が集中されるべき場所であると事業計画上で位置付けること。また、来園者数等の数値目標を中長期で明示し、観光その他関係団体はもとより県民に周知を図り、目標を共有すること。
- ② 県と岡山市で設置された連携推進協議会を活用し、後樂園と岡山城との連携をより一層強化するための方策や、県・市、商工会議所等が連携した観光プロモーションを行うとともに活動状況の周知を図ること。さらに、岡山の城下町を建設・発展させた宇喜多氏・池田氏を生かし、近世（戦国時代～江戸時代）の歴史ロマンを感じさせるイメージ戦略を策定すること。
- ③ 全国的又は国際的な規模の会議等のレセプション会場として、県・市、商工会議所等が連携してPRすること。
- ④ 各種イベントの開催に当たっては、文化財庭園としての後樂園の魅力を引き出すものになるよう配慮すること。
- ⑤ 外国人の来園者に対応するため、看板やホームページ等を英語・中国語・韓国語等で表記すること。

2 後樂園は観光客の滞在時間が短く、収益構造が弱い点については、次の案を提言する。

- ① 鶴鳴館・延養亭・その他の施設や西外園の有効活用を図り、県内の優れた物産品の情報発信や販売を検討すること。
- ② 東外園を有効に活用する方策を早急に講じること。
- ③ 園内の施設が利用しやすくなるような方策を、運営形態の見直しを含めて講じること。
- ④ 茶店等既存施設のリニューアルや魅力の向上を図ること。
- ⑤ 来園者のニーズを把握し、改善策を講じるため、継続して調査を実施すること。

3 後楽園周辺エリアや施設とのコミュニケーションが不足している点については、次の案を提言する。

- ① 県と岡山市で設置された連携推進協議会を活用し、後楽園と岡山城との連携をより一層強化するための方策や、県・市、商工会議所等が連携した観光プロモーションを行うとともに活動状況の周知を図ること。
- ② 案内看板の設置について、県と岡山市、商工会議所等が連携し、利用者の立場に立って見直し及び新設を行うこと。
- ③ 出石町や周辺エリアとの連携を図るため、出石町1丁目の県有地の有効利用について早急に検討すること。

4 県民にとって後楽園が日常的に親しめる場所となっていない点については、次の案を提言する。

- ① 小中高校生、大学生等の来園機会を増やすための制度を継続的に検討すること。
- ② 東外園を有効に活用する方策を早急に講じること。
- ③ 園内の施設が利用しやすくなるような方策を、運営形態の見直しを含めて講じること。
- ④ 茶店等既存施設のリニューアルや魅力の向上を図ること。
- ⑤ 来園者のニーズを把握し、改善策を講じるため、継続して調査を実施すること。

5 子どもたちの郷土愛が希薄な点については、次の案を提言する。

- ① 小中高校生、大学生等の来園機会を増やすための制度を継続的に検討すること。
- ② 青少年に後楽園の歴史的、文化的価値を知ってもらう方策を講じること。